

## 第2回ソーシャルイベント研究会 レポート

■日時 平成25年9月17日(火) 15:00~17:00

■会場 日本イベント産業振興協会 会議室

### ■カリキュラム

- ・ソーシャルイベント研究会の進捗状況説明
- ・参加者プレゼンテーション
  - 1) 田中滋
  - 2) 澤内隆
  - 3) 内田なお子
- ・今後の計画およびスケジュール



### 【出席者】

座長：小林政則（イベント支援ネットワーク）

荒川弘毅（TSP 太陽）、井田和広（スカイランタン研究会）、内田なお子（昭栄プリント）

大根田利夫（ダーツ）、沖佳保里（コブタカンパニー）、加藤淑子（エンコーポレーション）

澤内隆（帝國書院/文教大学）、鈴木純子（日本リ・ファッション協会）、田中滋（DEN&A）

田畑伴和（似顔絵作家）、宮木宗治（東洋大学）

[事務局] 小西功一、菊地浩之

### ■ソーシャルイベント研究会の進捗状況説明（小林座長）

前回「勝手にプロポーザル」への登録をお願いしたところ、本日まで12件が集まり既にWebにアップしている。直近では、明日9月18日に恵比寿ガーデンプレイスの関係者にプレゼンテーションを行う。9月20日は鳥取県の湯梨浜町の町長に提案。9月末には札幌の公共施設関係者に提案。荒川区の観光振興公社への提案を含め、9月末までに4件にプロポーザルをする予定で進めている。

### ■参加者プレゼンテーション（1人30分）

1) 田中滋（DEN&A）

#### 「人と自転車に優しい東京を！ TOKYO♥BICYCLE」

世界的に見ても交通事情に大きな課題を抱える東京の問題点と、自転車先進国である欧米都市の事例を紹介（ロンドン、サンフランシスコ、ニューヨーク、バンクーバー）。イベントとデザインのかで自転車社会の推進を提案。

- ・東京の問題点 → 自転車が歩道を走ることによって事故が多発
- ・自転車先進国 → 自転車専用道の整備で歩行者も自転車も安全な社会を構築

#### 求められる活動のテーマ

- ① 安全な自転車走行空間の確保（車道走行の安全教育）
- ② 市街地における駐輪空間の確保（環境美かと街の活性化）
- ③ 自転車による健康生活の奨励（LOHASの奨励）



——小林座長

自転車についてはどこの自治体でも非常に重要な課題だと考えられる。我々の提言に値する大きなテーマだと思う。自転車の様々なイベントがあるので、事例をたくさん集めていただいても面白い研究ができると感じた。

【田中】 10月14日は六本木のミッドタウンで「サイクルマルシェ」が行われるが、去年は5時間の開催で自転車関連グッズが450万円売れたと聞いている。スポーツ車に乗っているグループの中でも、マナーアップを広める活動が始まっている。ツール・ド・陸前高田というイベントは、参加者がなかなか集まらず赤字に悩んでいるという話も聞く。日本で一番自転車道の整備が進んでいる都市は金沢なので、色々な事例を集めたいと思う。

——小林座長

東京は大都市なので、まず提言しやすい都市をターゲットにしていく手法もあると思う。田中さんもぜひ「勝手にプロポーザル」に登録して、ショーケースに乗せて欲しい。11月の研究大会でも発表していただき、賛同者を募ってはどうかと感じる。

## 2) 澤内隆 (帝國書院/文教大学)

### 「東京オリンピック開催に向けた3つの提案」

#### ① 東京みんなのスポーツ塾

11月に実施する「東京みんなのスポーツ塾」の紹介を通じて、イベント会場における生涯スポーツの体験の推進を提案。子どもやシニアの体力不足が課題となる中で、誰もが気軽に楽しめるスポーツをイベント会場で普及させていくアイデアを紹介。

#### ② 地理能力検定

「通訳案内士」科目免除検定に指定された地理能力検定を紹介。

#### ③ 国旗検定

世界各国からゲストを迎えるホスト国として、国旗の知識を深める「国旗検定」を紹介。

オリンピックに向けて見るスポーツだけに興味が行くようだが、身近な「するスポーツ」、通訳ガイドへのチャレンジ、国旗による国際理解を提案。



——小林座長

誰もが楽しめる生涯スポーツを「勝手にプロポーザル」に登録していただき、湯梨浜町にも提案したい。国旗検定は会員である中島さんの団体なので、イベントショーケースに検定コーナーなどのリンクバナーを設けることも検討したい。

## 3) 内田なお子(昭栄プリント)

### 「まちなかバル+公共交通に関する提案」

大阪在住の会員、山田重昭さんの手掛ける「ちん電バル」を参考に、東京の都電荒川線での実現に向けた研究を報告。

概要説明に加え、王子駅前から三ノ輪橋まで乗車して見えてきた地域の特性や可能性を紹介。対象エリアを三ノ輪橋から荒川区役所前の3駅に絞り、研究を進めていくことを発表。

#### 対象エリアの選定理由

**STEP2 視察のまとめ**

**対象エリアの絞り込み**

三ノ輪橋から荒川区役所前での実施を想定

- ・ Joyful三ノ輪橋商店街から多くの店舗の誘致が期待できる
- ・ 三ノ輪橋は東京メトロ三ノ輪橋に近く日比谷線利用者の参加も見込める
- ・ 荒川区役所に提案しやすく自治体による広報力も期待できる

- ・ジョイフル三ノ輪商店街から多くの店舗の誘致が期待できる
- ・三ノ輪橋は東京メトロ三ノ輪駅に近く日比谷線利用者の参加も見込める
- ・荒川区役所に提案しやすく自治体による広報力も期待できる

今後の課題として、ターゲットの設定、運営システムの検討などを引き続き調査することを報告。

#### 今後の研究課題

- ・チケットの価格の設定
- ・チケット制ではなくイベントの缶バッジ購入者が店で特典を受けられるような運営システムも要検討

——小林座長

缶バッジはソーシャルイベントと相性のいいツールであり、参加店のスタッフなどにも付けてもらって盛り上げることも1つのアイデアだと思う。

【澤内】 都電荒川線の貸切は1回13,820円できる。私も実際使ったことがあるが、1日に1本しか受け付けないので早めの申込が大事。飲食物は持ち込み禁止、5分間隔の定時運行の間に走らせるので制約も多い。商店街と車内のイベントを上手くリンクさせることがポイントになると思う。貸切とは別に荒川線は夏にビアガーデン列車を運行しているので、提案の仕方によってはお座敷列車のような形も可能だと思う。

——小林座長

お座敷列車は象徴的な形にして、地元の商店街によるお客様のおもてなしキャンペーンという位置付けた提案がやりやすいと思う。私も荒川区の住民であり、荒川区の関係者に都電を使ったイベントとして提案したいので、力を入れて取り組みたいと思う。

【沖】 ターゲットの設定はどのように考えているのか？バルは若者のイメージがある。

【荒川】 荒川線と江ノ電では対象が異なってくると思うので地域性も重要。大阪チン電バルの事例を見ると、鉄道会社の協力は必須だと思う。

【宮木】 新庚申塚の駅にはホーム内に和菓子を食べさせるようなレストランがある。クラシックな車両も走っているので面白いエリアだと思っていた。

#### ■初参加者自己紹介

【初参加/宮木】 イベント学会は設立当初から参加し、JACEで6年間、調査研究本部長をしていた。今は東洋大学の国際観光学科でイベント企画論を教えている。江戸川大学、静岡文化芸術大学でも授業を持っている。カンヌライオンを受賞したCMの中に、ソーシャルなものが多かった。世の中、社会性のあるものが拡大していると感じる。今日は「勝手にプロポーザル」の仕組みについて、依頼のある自治体に提案をするのかどうか、その手法について興味があり参加した。



——小林座長

依頼があるのを待っていても始まらないので、こちらから積極的に話を持ち込む形で、イベント学会として皆さん

のアイデアを提案しようと考えている。先方が興味を持ったら、お互いのビジネスにさせていただく。メンバー間でビジネスユニットを組んでもいいと思う。

【初参加/荒川】当初はソーシャルという言葉がピンと来なかったところがある。今日、参加して皆さんのアイデアなどの接点になる場だと感じた。それぞれのアイデアやビジネスを組み合わせることで、荒川線の企画なども面白くできると期待している。個人的に考えていることは、似顔絵作家や大道芸人、個人でイベントを行っている人のプロモートをどうにかしたい。この研究会に参加した理由もここにあるので、皆さんとコラボして個のチカラを発揮して、新しいビジネスモデルを立ち上げたいと考えている。



【初参加/鈴木】来月のイベントと来年のリ・ファッションコンテストの企画に煮詰まっている。参加者に喜んでいただけるようなプランを取り入れたいので、この研究会のメンバーに色々ご協力いただきたいと思っている。地域のつながりを大事にしたいという想いから、キッズファッションショーを全国で実施したいと考えているので、お知恵をお借りしたい。1つ、大根田さんに布を使った缶バッジの試作をお願いしたいと思っている。



## ■フリートーク

【大根田】会社がある文京区にも国体の会場があり、近々缶バッジを出張で作りに行く。単純なバッジでは面白くないので、田畑さんにスポーツ競技のイラストを描いてもらい、そこにポラロイドで撮った写真を入れる。柔道、サッカー、マラソン、レスリングのバリエーションがあり、子どもが色を塗って完成させてオリジナルの缶バッジを提供したいと考えている。



——小林座長

イベントの概念だけでなく、缶バッジのようにイベントのネタの話を詰めることも、この研究会の重要なテーマになると思う。皆さんも何かお手持ちのものがあればショーケースに乗せていただきたい。

第3回目の研究会は、乃村工芸社の小島さんが進めているビジネスの話をお聞きしたいと考えている。開催は10月中旬予定、場所も検討していただいているようなので、改めて事務局よりご連絡したい。

## 懇親会

出席可能者が少ないため次回に見送り

以上